



柏葉



学校だより 第18号
令和4年8月26日(金)
福島県白河市立東北中学校
発行責任者 校長 渡邊泰昌
「自分の未来を切り拓け！」

「いじめフォーラム」：自分の言葉を相手に伝える大切さ

8月1日に白河市教育委員会の主催した「仁の集い:いじめフォーラム」が市立図書館において開催されました。市内各中学校の代表者が各学校のいじめ防止のための取組を発表し、交流することを目的としたもので、本校の生徒、佐野侖さんと邊見悠輝さんが出席しました。2人は自分の考えを自分の言葉で伝えたことによって、相手の心に伝える良い発表ができました。すばらしかったです。

いじめを防ぐためにはどうしたら良いと思いますか？

発表した内容を文字に起こしました。

東北中学校の佐野侖です。私の考えの前提として、いじめ対策って結構苦しいことが多かったりするの
で、いじめを0にするのではなく、**プラスのことを加えて温かい言葉とか温かい活動**というの
を多くしていじめを自然となくすというのが私の考えの大切なポイントです。一つ目は**意識を高
める**ということが大切です。例えば**スローガンの設定**であったり、**道徳の授業等での思いやり
の大切さを学ぶ**ことが良いと思います。二つ目は**全校生が団結する取組**みを作ることが良いと思
います。東北中は文化祭や体育祭が**とても盛ん**に行われていて、先生や生徒が**一緒になって
楽しい行事**が行われています。これが東北中の良さでもあり、いじめのない一つの要因にな
っていると思います。さらに情報共有をしっかりとすることだと思います。SNSは情報共有で使うこと
が多いので、ホワイトボードなどを使って、しっかりと**情報共有を全校生徒でしっかりといくこ
とが必要である**と思います。

まとめると、スローガンであれば見るところにしっかりと掲示して意識を高めていく、全校生徒の団
結であれば先生等含めて学校全体で盛り上げる、情報共有であれば、ホワイトボードを設置して全校生徒



「いきいき協議会」について説明する佐野侖さん

東北中の邊見悠輝です。私は、SNSいじめをな
くすためには、**意識していない人に個別に伝
えていくことが大切である**と思います。一人一
人に強く伝えていくことが大切だと思ったからです。
その方法として、**コミュニケーションを図るた
めの時間の確保とその方法を考えることが
大切**であると思いました。

※ 他の生徒の皆さんも、自分の考えを自分の言葉で表現す
ることを、授業で実践していきましょう。

【2学期が始まりました。】

8月22日に校内オンラインで第2学期始業式を行いました。2学期の抱負を1年生代表:荒井柊真さんと2年
生代表:平山千翔さんが堂々と発表しました。

2学期は、修学旅行や学習旅行、新人戦や柏葉祭などのたくさんの行事があります。それぞれの行事をお互
いが協力し「大成功」に導き、たくさんの良い思い出をつくってほしいと思います。

また、スポーツ講演として、矢吹町出身のオリンピック選手千葉麻美様を学校にお迎えし、「自分の目標や
夢を叶えるために」ということについて講話をいただきました。今後の参考にしてほしいと思います。

中学校三年間はあっという間に過ぎてしまいます。この三年間は人生の中で大きな変化の時期です。中だ
るみの時間はありません。日々、「今の自分を越える挑戦や努力」をしてほしいと思います。
東北中の生徒の皆さん、自分の未来を自分で、自分たちで励まし合いながら切り拓いていきましょう。

